

石上 孝雄

〔民主クラブ〕

市道の維持管理は

問 常に万全を期することが必要、体制はどうなっているか。

答 職員による道路パトロール、地域住民、自治会等からの情報提供により不良個所の状況を把握し、道路を良好な状態に維持するため適切な処置を講じ適正な道路管理に努めている。



市道補修作業

問 住民からの通報、道路パトロールによる情報収集等の強化についての考えは。

答 市内全域を週一回以上パトロールしているが、観光シーズ

ン等の交通量が増加する期間には、重点的に主要幹線道路のパトロールを強化するとともに、市街地については、自転車と徒歩により現地の状況に応じたパトロール体制を編成し、交通の確保と事故防止の徹底を図っている。今後においては、道路上の危険個所に関する情報収集のため、市内道路を利用する事業者からの情報提供を受ける新たな取り組みも必要と考える。

旧樹海東小学校の跡地利用

問 未利用になって2年が経過したが、今後の利用計画は。

答 富良野市未利用財産利活用基本方針に基づき、将来的に利活用の用途がない財産は①積極的に民間に売却②売却が困難なものについては貸付をすることとしている。今後、富良野市公有財産利活用検討委員会を開催し、活用又は処分方針を正式に決定していく。それまでの間の施設及び周辺環境は、適正に管理する。キカラシ、向日葵などの景観作物の植栽については、遊休地の活用を含め地元と協働の視点で協議を進めていく。

総務文教(事務調査報告)

■調査第一号「学校内における児童生徒への危機管理体制について」

本委員会では、児童生徒が一日の多くの時間を過ごす学校が、安全で楽しい場でなくてはならないと考え、学校内の危機管理体制について調査を進めてまいりました。

本委員会では、特に近年増えてきていると言われる子どもたちのアレルギー疾患の状況と、けがなどによる救急搬送時の対応に着目し、調査をしてまいりました。

また、食物アレルギーをはじめ、全国の学校での痛ましい事案も起きていることから、本市においても、いま一度安全対策を見直して見る必要があると受けとめております。

今後は、他市の学校教育現場での危機管理に関する取り組み体制も参考に、学校内はもとより学校運営に関係する機関や団体と連携するなど、どのような協力体制が必要か調査する必要があり、中間報告と致します。

委員会の動き

から、各学校では、危機管理マニュアルなどを作成し、安全安心の確保に務めています。こうした学校の日ごろの努力にもかかわらず、児童生徒の命に係わる事件や事故が全国で発生しております。



学校危機管理マニュアル